

日本共産党

ひめだ高宏三一文

No. 65

'09.11.25

11日の大雨による浸水被害

11月11日未明の大雨は、和歌山市内で観測史上初の豪雨で床上・床下浸水の世帯が多数になりました。私、ひめだ宅も床上浸水となり、いまだ後片付けができていません。被災されたみなさんにお見舞いを申しあげます。この浸水で今まで知らなかった教訓の多いことを気付くことができました。

被災状況の正確な把握が必要

被災状況は各世帯からの通報で支所・連絡所が調査を行い、結果を市長の室・総合防災課へ連絡するとのことですが、地区により取り組みが違っていました。

被災状況を正確に把握する仕組みをつくる必要性を痛感しました。また、高齢者・障害者・女性単身世帯では被災後の後片付けが世帯だけでは難しく援助できる

仕組みも必要です。

地域の連携と市民と市役

市の対策と対応の改善が必要

浸水の大きな原因は、新記録の大雨に間違いないですが、既存のポンプ場が十分働かなくなったのかと疑問視する声を各地で聞きます。塩屋では19月に市の下水管理の担当者大雨になつたら見回りを頼んでいたのに来なかったし、当日も見に来なかった」と聞きました。総合防災課では偶然、漬から来た男性が「下水の整備がないときにも浸水はなかったの」と。共産党には古屋の方から「ポンプ場の運転が遅水たと聞いた

所の連携をどう進めるべきか考えさせられました。

が」と電話がありました。

市には施設の運転管理だけでなく気候の変動に対応する施設の検討と、地域を見守る姿勢が必要ではないでしょうか。

こんにちは

県会議員の

ふじい 健太郎

(4の253)

12月県議会が11月27日

から12月17日までの会期

で開会されます。国の新

年度予算の大枠が決まっ

ていないなかで、地方自

治体の新年度予算につい

ても先が見えにくいよう

で、県の新年度予算のお

り方についての議論も深

められたいようです。

12月県議会の特徴とし

ては、県人事委員会の勧

告にもとづく知事、議員

職員の給与とボーナスの

引き下げ議案が中心で、

補正予算では災害拠点病

院・支援病院の耐震化、市町村への消費生活センターの設置や相談員の配置、検診車の購入などが計上されています。

議員提案として「観光

振興条例」の制定と「議

員定数条例」の改正(定

数の削減)が予定されて

います。また、畑田さん

と一緒に改善を求めてい

た「自動車取得税」の障

害者減額の一部改善も提

案されています。それぞ

水の議案の詳しい内容は

またお知らせします。

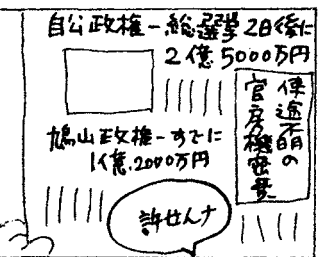
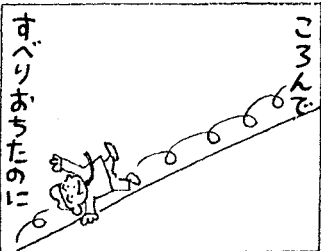


3. いい健太郎
県会議員

フリーの人々



608



こさんでもタガでは起きんというところがそれにしても

自公政権 - 総選挙 28候補 2億5000万円
 鳩山政権 - 選挙 1億2000万円
 官房機要費
 保健所の
 官房機要費
 許せんナ

市議会 だより 12月定例会市議会始まる

月日	曜	会	議	備考
11. 25	水	本会議	議案説明(質疑)	
26	木	"	討論採決(決議)	
30	月	"	一般質問	② 軒下 ② 大44 議案受理期間
12. 1	火	"	"	
2	水	"	"	② 南畑
3	木	"	"	
4	金	"	一般質問(質疑 委員会付託)	③ 渡辺
7	月	常任委員会		
8	火	"		
9	水	"		
10	木	特別委員会		
11	金	"		
15	火	本会議	市長報告 討論採決	

備考欄 ○数字は、日本共産党市議団の一般質問
当日の順番です。くはくは市議団 435-1113 まで。

申請手続きの簡素化が必要

床上浸水で総合防災課(消防局6階)から「り災証明書」を受けると市の救済制度が受けられますが、それらはすべて各窓口へ行き申請が必要で、「り災証明書」交付申請と受領の委任状が1枚あれば、代理人の印鑑と運転免許証ですべての手続きはできます。窓口は総合防災課・市民税課・資産税課・医療福祉課・

も仕事と休む必要や、高齢者や障害者は申請が大変。床上浸水の損害に対する何らかの救済策も必要です。

救済制度の周知徹底が必要

床上浸水の救済制度を市のHPで知ったという方もいました。市から何の連絡もなく知らない方もいました。高松自治会は「り災証明書」の発行と見舞金に関する文書が委任状の用紙と一緒に配りましたが、ひめたままで相談ください。

こどもたちは 日本共産党 です



厚生労働省は20日、後期高齢者医療制度の保険料について、来年4月の改定で09年度に比べ全国平均で約13.8%増加すると発表。10月下旬の試算では約10.4%増でした。保険料改定は2年ごとで、来年4月は最初の見直し時期となります。同制度の運営主体となる各広域連合は、同制度廃止公約の先送りを表明している新政権の対応を受けて保険料改定額の試算を行、ています。今回の手直しは、医療費の伸びが当初試算より大きく伸びた

ためですが、9日の参院予算委で長寿厚労相は、予算年度の上昇見込みは約12%と答弁。あまが10日のうちに試算額がまた上昇しました。日本共産党は、高齢者に重い保険料を求め、年齢で医療を差別するこの制度をすぐに廃止するよう求めています。

いのちの山河

木澤豊 監督作品

日本国憲法 第25条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

長く無医村で、全国で最悪だった早稲死亡率を、全国初の死亡率「ゼロ」を実現させ、高齢者と乳児の医療費無料化を全国で初めて実施した岩手県の沢内村・深沢村長と村民の奮闘のドラマを日映画化!!

出演 長谷川初範、とよた真帆、加藤剛

上映会 12月3日(木) ① 13:30~15:30 ② 16:00~18:00 ③ 18:30~20:30

入場料 [前売] おと存 1200円 中高生 800円 [当日] おと存 1500円 中高生 800円

会場 和歌山県民文化会館小ホール (和歌山医療センター) 474-5123

映画「日本の青空」第2弾

憲法25条